

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大分県		代表者名	佐藤 樹一郎	
担当者部署	総務部		連絡先電話番号	097-506-2408	
担当者役職	主査	担当者氏名	伊賀上 和樹	連絡先E-mail	*****
住所	870-8501 大分県大分市大手町3丁目1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	筒井 大介	
評価	大変よい	
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	言葉だけが先行しがちな「DX」について、概念を教えてくださいと、「自治体にとってのDX」について、実体験を基に講演いただいたことで、非常にわかりやすかった。 また、受講者と同じ自治体職員のため、話にリアリティが感じられ、内容に共感する受講者が多かった。	
アドバイザーへの要望事項	エクセル操作の演習の時間が少し長かったように感じられたので、実際の業務改善の話や質疑応答の時間をもう少し増やして欲しかったという声がありました。	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年8月25日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			14時00分	17時00分	5
			活動時間（分）	175	
3-2. 派遣場所	会場名	大分県庁本館	最寄駅	大分駅	
	所在地	大分市大手町3丁目1番1号	最寄駅からの交通手段	タクシー	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	大分県実務研修職員、県内市町村職員	26人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	職員は、担当業務以外の話を聞くなど、勉強する機会や余裕がない。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	担当業務にとらわれず、幅広い見識を得ること。 業務改善に向けた意識の醸成を図ること。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	DXを活用した業務改善の例 実際に業務改善に向けて動く際の具体的な課題等	
支援を受け改善又は解決された内容	「DX」に対する正しい認識や業務改善に向けた意識の醸成	

(具体的にご記入下さい)	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他 具体的な成果物を目的にしていなが、新たな知識や機運の醸成が図られた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 満足度は5段階評価中平均4.3であり、大多数の職員が満足いく内容だった。 また、評価が低くなった理由は、もっと詳細な話を聞きたかったという前向きな内容であり、多くの職員の興味を引く内容だった。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ⑤その他
事業の最終的な目指す姿	個々の職員が学んだ内容を日常業務に活かすとともに、周囲の職員へと拡散していくこと。

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



